

題 名	令和3年度第2回あま市立学校給食センター運営委員会議事録	
日 時	令和4年2月14日(月)午後1時30分～午後2時46分	
開 催 場 所	あま市学校給食センター 2階 大会議室	
出席委員	教育長職務代理者 溝口 正己 教育委員会委員 笹野 奈津子 秋竹小学校長 山田 洋暢 甚目寺西小学校長 横井 三千代 七宝北中学校長 横田 健司 美和中学校長 平野 誠二 甚目寺南中学校長 安江 利成 秋竹小学校PTA会長 宮崎 環 美和東小学校PTA会長 塩崎 加代 甚目寺西小学校PTA会長 渡邊 浩人 七宝北中学校PTA会長 川村 伸一 美和中学校PTA会長 菅原 勝行 保 育 士 長 岩井 小百合	
欠席	美和東小学校長 林 俊文 甚目寺南中学校PTA会長 村上 昭太	
事務局	教 育 長 松永 裕和 学校給食センター課長 平野 誠 学校給食センター課主査 佐藤 泰章 学校給食センター課主査 富士原 大地 学校給食センター課栄養士 井野 みゆき 学校給食センター栄養教諭 河橋 伸哉	
傍 聴 人	なし	
議 題	1 令和3年度事業等報告について ア 食に関する指導について 資料1 イ 献立内容について 資料2 ウ 衛生管理について 資料3 エ 保育園給食・食育について 資料4 オ あま市学校給食センターの施設見学及び試食について 資料5 2 令和4・5年度学校給食用物資納入業者の登録について 資料6 3 令和4年度小中学校・保育園給食日数等について 資料7 4 アレルギー対応基本方針及びマニュアルについて 資料8	

1 あいさつ

溝口委員長、松永教育長より開会のあいさつ

2 議題

(1) 令和 3 年度事業等報告について

ア 食に関する指導について

事務局から資料 1 にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

食に関する指導は具体的にどのようなことを実施したのか。

(事務局)

骨やカルシウム等、具体的な栄養分についての指導、食に対して感謝の気持ちを持ってもらえるように、「米」等の食に関する漢字の成り立ち等の指導を行った。個別指導については、アレルギー対応について、保護者と面談を行った。

(委員)

面談は保護者の方からの希望に沿って行うのか。

(事務局)

保護者の希望に沿う場合以外にも新規で除去食を希望する場合は、必ず面談を行っている。

イ 献立内容について

事務局から資料 2 にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

給食で提供する魚は、骨を抜いたものを提供するのか、食育の一環として、骨が入ったまま提供するのか。

(事務局)

給食物資を選定する際に、骨の少ない物を選んでいる。ただし、あくまで少ないものを選定しているのみであるため、完全に取り除くことはできないのが現状である。

(委員)

セレクトデザート※は現在も実施しているのか。

※セレクトデザート：食べたいデザートを児童生徒の選択制にし、希望するデザートを給食として提供する取り組み

(事務局)

12月に1回、セレクトデザートを取り入れた。今後は情勢を踏まえ、セレクトデザートの実施を検討していく。

(委員)

試行実施したオーガニック給食の今後の展開方向は。

(事務局)

学校・保育園での SDGs に対する教育の一環として、オーガニック食材を活用して給食

を提供した今後ともオーガニック食材を活用しての安全安心な安定的な供給に向けて調査研究していく。

(委員)

急な学級閉鎖や休校となった場合、給食はどうなるのか。

(事務局)

納品業者へ発注キャンセルを依頼するが、当日に学級閉鎖が決まった場合等は、キャンセルが間に合わず、納品された材料は廃棄対応となる。

(委員)

その場合は、給食費を徴取できないと思うため、廃棄に係る費用は市が負担するのか。

(事務局)

廃棄に係る費用は、本市が負担することになる。

ウ 衛生管理について

事務局から資料3にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

給食配送について、これまで遅延したことはあるのか。また、それに対して改善策はとっているのか。

(事務局)

現状、遅延は起きていない。配送計画については、配送先までのルートを勘案し、綿密に設定している。また毎年見直しを図り、今後も遅延のないように努めていく。

(委員)

HACCP※運用は徹底されているのか。

HACCPとは、安全な食品である製造するため製造工程の管理方法

(事務局)

あま市学校給食センターは、HACCPに則り運用している。

(委員)

給食に異物混入があった場合、原因調査にはどの程度かかるか。学校側としては、子供の安全安心を確保したうえで、保護者へ説明をする必要があるため、調査にどの程度かかるものなのか把握しておきたい。

(事務局)

調理工程ごとにチェック項目があり、チェックしたうえでの調理業務を行っており、異物が混入しないように万全を期している。混入異物があった場合は、調査に混入物資によって、調査期間が異なり、一概にお示しすることが出来ない。

原因調査の進捗如何に関わらず、学校への連絡は迅速に行うことを徹底する。

(委員)

原因調査は調理業者、納品業者に任せっきりでなく、市も一緒に確認している認識でよいか。

(事務局)

異物混入があった場合は、調理業者、納品業者のみならず、本市職員も確認し原因究明していく。

(委員)

報道を見ると、調理機器の劣化から、機器の部品が異物として混入する事例が見受けられる。

そのような事例を未然に防ぐため、予防対策は行っているのか。

(事務局)

包丁やスライサー等の調理機器については、使用前・使用後の点検は、毎日実施している。合わせて、調理機器メーカーによる点検も毎年実施している。今後も、異物の混入がないように努めていく。

エ 保育園給食・食育について

事務局から資料4にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

あま市立保育園が実施したアンケートによれば、給食提供を希望される保護者が多い結果となっているが、弁当の日が来年度から給食になるのは悲しいように感じる。

(事務局)

年9回「弁当の日」として、弁当をつくることにより親子のふれあいを目的として実施していたが、アンケートでの保護者からの意見を踏まえ、「弁当の日」は止めることとなったが、遠足等弁当を持参する機会はあるため、その機会を活用して取り組んでいく。

オ あま市学校給食センターの施設見学及び試食について

事務局から資料5にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

保育園の見学受入れは年長か。美和小は何年生のクラスが見学に来たのか。

(事務局)

保育園は年長で、美和小は2年生児童を受け入れた。

議題(1)「令和3年度事業等報告」については承認。

(2) 令和4・5年度学校給食用物資納入業者の登録について

事務局から資料6説明

<主な質疑応答>

(委員)

前年に比べて、食材毎に取り扱う業者数は変動しているのか。

(事務局)

申請者は4者減っている。内訳は、青果物取扱者が1者・加工品取扱者は3者となる。なお、登録は2年度間の登録となるが、単年度毎に契約更新をしている。

(委員)

市が給食物資を選定する際には、良い見本のものを持ってきて、実際に納品する際には、見劣りするものを納品されるといった事例があると聞いている。

また、物資の選定するのは市であるが、物資納品時の検収作業は調理業者が行う等、選定と検収の担当者が異なるため、情報共有は徹底する必要があるが、対策はとって

るのか。

(事務局)

物資選定時に、調理業者も選定された物資見本を撮影し、どのようなものが選定されたのかを共有している。納品時には、撮影した写真と見比べて、あまりにも規格に差が出ている物資の場合、実際に納品業者に対して、再納品を指示した事例もある。

議題(2)「令和4・5年度学校給食用物資納入業者の登録」については承認。

(3) 令和4年度小中学校・保育園給食日数等について

事務局から資料7にて説明

<主な質疑応答>

なし

議題(3)「令和4年度小中学校・保育園給食日数等」については承認。

(4) アレルギー対応基本方針及びマニュアルについて

事務局から資料8にて説明

※ 補足説明として、「令和3年度第1回あま市立学校給食センター運営委員会」の中で質疑があった、あま市における食物アレルギー対象者数の割合と愛知県全体の食物アレルギー対象者数の割合を報告。

児童生徒におけるあま市のアレルギー対象者数は全体の約2.3%、愛知県は約1.8%である。

<主な質疑応答>

(委員)

食物アレルギー対象者数の割合は仮に0.1%の差であっても、人数としては大きく差があるのでは。

(事務局)

母数も大きいため、決して少ないものではない。

議題(4)「アレルギー対応基本方針及びマニュアル」については承認。

3 その他

(委員)

SDGs についての取組を積極的に進めてほしい。合わせて、オーガニック食材の導入も進めてほしい。安心安全な給食提供が前提であるため、出来れば、毎日オーガニック食材を導入することを考えてほしい。

(事務局)

市で行った試行実施の結果の課題・問題点を精査し、また他団体での導入事例も踏まえて、今後ともオーガニック食材を活用しての安全安心な安定的な供給に向けて調査研究していく。

(委員)

価格面の話で、例えば、バナナの提供について、バナナ1本毎に個包装しないと提供が難しいと聞いている。バナナ自体、そもそも皮に覆われており、更に包装することの必要

性が感じられない。この包装することで当然コストも上がるため、オーガニック食材の導入当たってはそういった点も積極的に見直してもらいたい。

(事務局)

オーガニック食材を活用しての安全安心な安定的な供給に向けて調査研究していく。

【閉会時刻：午後 2 時 46 分】